



第4章 課題を踏まえた対応

(1) 課題を踏まえた対応

課題等を踏まえ、自転車の利用環境整備と併せ、全ての道路利用者に自転車の交通ルールを徹底させるなど、ハード、ソフトの両面から取り組みを進める。

また、さらなる自転車利用環境向上に向けて、新たな考え方や施策の拡充を行い、関係者と連携して取り組みを進める。

	課題	対応
はしる 走行空間計画	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の走行空間のネットワーク化が進んでいない。 道路空間に制約のある箇所で整備が進んでいない。 	⇒つながるネットワーク形成に向けた優先的な整備が必要。 ⇒新たな整備手法（自転車とクルマの共存）の導入
とめる 駐輪計画	<ul style="list-style-type: none"> まちなかでの駐輪場の用地確保が困難で整備が進んでいない。 	⇒駐輪場の用地確保（用地交渉継続、道路上スペースの活用） ⇒交通事業者、商店街等、交通管理者と連携した駐輪場整備
しくみ 放置自転車対策	<ul style="list-style-type: none"> 撤去自転車は依然として多い。 撤去自転車の引き取りが少なく、市の負担が大きい。 	⇒駐輪場適正利用の推進 ⇒放置自転車対策の効率化
まもる 啓発活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 自転車ルールの浸透度が低い。 過度なマイカー利用 健幸都市づくりの推進 	⇒自転車利用ルールの認知度向上、実行度向上 ⇒自転車利用の促進



歩道内を錯綜する歩行者と自転車



新潟大学前駅の長期放置自転車



万代地区の放置自転車



車両通行禁止区間を走行する自転車